

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



第21回 全国中学校バスケットボール大会 1991. 8.19~22 於・沖縄県

バレーボールと私

川越市体育協会副理事長
大谷 武史

東京オリンピックを契機に全国的に人気急上昇したバレーボール川越市に於いても埼玉国体がその機を与えた。

小・中・高そして社会人、特に婦人層への普及がめざましく、広範囲にわたり発展して来た。

それはやはりチームワークを前提として競う代表的なスポーツで、奥深い処はあるが、老若男女、誰にでも簡単に解け込める要素が、バレーボール人口を急増させた原因であろう。

私もバレーボールとは切っても切れない縁で結ばれている。

高校時代から現在まで色々な角度からこの世界に携って来た。コートの中から、サイドから、或いはネットの上から。現在も未だボールを捨て切れない。コートに入ると自然に体が動くような気がして年齢に合わせて一生懸命ボールを追いかけて楽しんでいる。所詮は好きだからでしょう。

バレーボールは個人技も大切であるが、なんと云ってもチームプレーの競技である。一つのボールを追って複数の力が一体となった時に始めてポイントにつながる。又、ちよとした一つのミスがすぐコート内に影響する。デリケートな面も多分にある。

オフエンスとディフェンスが烈しくコートを交錯し、瞬間的に点が動く。厳しい、つらい、そして楽しい練習の中から鋭敏な反射神経と、強い信頼感を養い、それらがゲームを構成してゆく。こんな所からバレーボールの魅力が生れてくる。

私は高校バレーの大ファンでもある。未完成ではあるが鍛へに鍛へられたチーム同志が、真正面からぶつかり合う。

闘魂、根性、肉体と精神力がゲームを盛り上げる。短い高校生活の中の、その又一ゲームだけに全力をしばって青春を賭ける。

厳しく激しい練習には怪我がつきもの、自分の体との戦いが日常常茶飯事、限界に挑戦する容姿は若く逞しい。

結果は勝っても負けても涙。その涙が何んとも美しい。応援席にもジンと伝って来る。そんな感動にしばれて体育館通いが又、繁くなる。これからもバレーボール人生がまだ続く。

スポーツと人生

講師 松平 康隆氏



2月10日川越西文化会館にて、日本バレーボール協会会長松平康隆氏により、スポーツ講演会「スポーツと人生」が開催されました。

スポーツ指導者、バレーボール愛好者、市民一般と多くの人達が集まり満席、立ち見が出る程でした。今年にはオリンピックイヤーと云うことで松平氏が全日本バレーボールチーム男子をひきいて、東京オリンピック銅メダル、メキシコオリンピック銀メダル、そしてミュンヘンオリンピック金メダルを獲得されましたが、その間、選手と共にあらゆる計画を立てその様になる為にしたいろいろな努力を話されました。

オリンピックから次のオリンピック迄の間どのような努力をするかが非常に大切である。

又、監督が選手に教えられるのは半分、あとは各選手の努力がなければ一流の選手にはなれない。一流の選手とはどんなプレッシャーもはねとばす強い精神力を持った選手である。

松平氏の体験にもとづくユーモアのある話にて、館内は非常に過ごやかな楽しいふんい気につつまれた。あらゆる団体スポーツはチームワークが大切である。そして良いチームワークとは思いやりのある人達が集まり、そしてなお仲間の気持ちになつていろいろな事を考えて皆で実行するのが最高のチームワークである。

「スポーツにはルールがある。そしてそれを守る。だからスポーツは、さわやかなのである」。

先日川越市民体育館での埼玉大会に優勝し、春の高校バレーボール大会に出場の決定した川越商業の女子バレーボール部の選手も楽しそうに聞き入っていました。

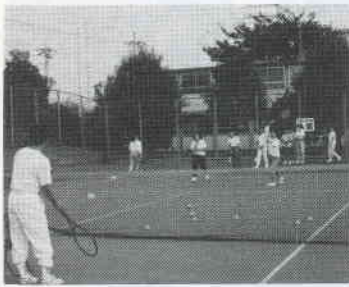
松平氏は、人生もスポーツを通じていきな生き方をしたいとの事です。さすが松平氏、あつと云う間に終った気がした講演会に館内よりおしめない拍手が送られました。

スポーツ教室

平成三年度のスポーツ教室が川越市体育協会の協力により14教室七三〇名の参加により開催されました。市民の皆さんがスポーツを楽しむを目的とし、生涯スポーツの一助に役立てれば幸いです。

各教室の参加者数

なぎな	22人	婦人水泳	37人
卓球	23人	婦人ボウリング	57人
少林寺拳法	17人	Jr水泳	49人
太極拳	35人	Jrバトーン	29人
スケート	74人	Jrトランポリン	16人
婦人軟庭	42人	Jrスキー	100人
婦人硬庭	104人	Jrスケート	125人



(婦人硬式テニス教室)

星野女子高の選手が独走でV 川越市民ロードレース大会

34人が参加

第20回川越市民ロードレース大会が11月24日、川越水上公園で、2000メートル3000メートル5000メートルの3コースに12種目34人が参加して開かれた。

今大会も、星野女子高校の選手が、一般女子A 3000メートルで、それぞれ軽快な走りでも上位を独占した。各部門の上位成績は次の通り

(敬称略)

(2000メートル)

- ▼小学生男子 ①木内雄介
- ▼関口裕貴 ③内田直哉
- ▼小学生女子 ①森田悠記子
- ▼長谷部真弓 ③川口麻里

(3000メートル)

- ▼中学生男子A ①山岸悠佑
- ▼岡野 徹 ③萩原 宙
- ▼中学生男子B ①清水信之
- ▼宮川拓也 ③小泉直人
- ▼中学生女子A ①矢崎卓子
- ▼大島由起子 ③杉下佳江
- ▼中学生女子B ①藤野原悦子
- ▼一般男子E ①小川欣也

(5000メートル)

- ▼一般男子B ①宮沢正義
- ▼長沢俊幸 ③古原信弘
- ▼一般男子C ①小林政広
- ▼渡部則男 ③前橋秀介
- ▼一般男子D ①阿部 茂
- ▼阿部功二 ③及川史郎

アンカー勝負の大接戦 高階西中、名細中破り制覇

(中学生男子の部)

第20回川越市民駅伝競争大会は12月15日、川越水上公園の園内コースに101チームが出場して七部門を行った。

いづれもアンカー勝負、最後の最後まで気力を振り絞った熱戦が続いた。

総合成績

- (中学生男子各3キロ) ①高階西中
- (高校生男子各3キロ) ①川越工業陸上部A
- (一般男子A各3キロ) ①大日本印刷ミクロA
- (一般男子B各2キロ) ①根津走友会A
- (中学生女子各3キロ) ①大東西中A
- (高校生女子各3キロ) ①星野女子高
- (一般女子各3キロ) ①その他大勢



第10回川越ウォークソン大会

十一月三日(文化の日)

午前八時三十分……

「只今より、第10回川越ウォークソン大会を開催いたします。」

開会宣言により、第10回川越ウォークソン大会が秋空の下盛大に開催されました。

川越ウォークソン大会も今回で10回。

記念大会に相応しく、参加者数が過去最高の三千五百五十三名という快挙を成し遂げました。

また、牛若丸の山車・お囃しの披露を市役所所在地であります元町一丁目自治会・同牛若囃し連のご協力により実施し、大会ムードをより一層盛り上げていただきました。

また、東京都からのある参加者は「十月の川越祭りにこれなくて残念でしたが、川越ウォークソン大会に参加して、山車も観られるとラッキーでした。」と語って頂きました。

他に、10回大会記念事業としてこの大会に第1回大会から連続出場されている方への表彰を開会式に行い、名前入りの記念盾を贈りました。

受賞者は次のとおりです。

◎一般20km男子(競技)

横川照佳

◎一般10km女子(競技)

細田浩子・国府田和恵・上原綾子

◎一般10km男子

尾高好明・藤沢 広・又重英一
吉野洋右・今井邦夫・小田義一

大館 勇・鈴木義広・長島眞佐男
君島宣夫

◎一般10km女子

小河信子・月坂信子・木下純子

◎一般5km59歳以下男子

加藤尚武・小俣一三

◎一般5km59歳以下女子

佐藤詔江・須田慶子

◎一般5km60歳以上男子

鈴木喜三郎・配島照次・宮崎義信
柴田定雄・平野太郎・栗原忠一

◎一般5km60歳以上女子

志賀シズ・高瀬公子

以上の方々、受賞おめでとうございます。

◎競技20km男子
1位 早見 真 1時間45分13
2位 城田泰久 1時間52分22
3位 小金山光雄 1時間55分63
4位 佐々木敏雄 1時間56分03
5位 長谷川渡 1時間59分20
6位 北村富弘 2時間07分08
7位 藤野原稔人 2時間08分16
8位 斉木六郎 2時間08分57
9位 高柳光雄 2時間11分25
10位 松尾武幸 2時間11分39

◎競技10km女子
1位 須藤則子 56分45
2位 松本眞喜子 1時間13分52
3位 蓬田和子 1時間13分58
4位 千羽かよ子 1時間14分55
5位 上原綾子 1時間15分55
6位 斉藤昌江 1時間17分28
7位 水品裕子 1時間20分36
8位 国府田和恵 1時間20分49
9位 大野智栄子 1時間21分53
10位 上野恭子 1時間21分58

大会	申込者数	参加者数	大会	申込者数	参加者数
第1回	2154名	1932名	第6回	2292名	2057名
第2回	1958名	1761名	第7回	2225名	1995名
第3回	2232名	1992名	第8回	2265名	2058名
第4回	2502名	2227名	第9回	2351名	2106名
第5回	2309名	2030名	第10回	3875名	3553名

この川越ウォークソン大会も、川越市の事業としてかなり定着はしてきているという傾向にあります。

また、市外・県外より参加していただく方も年々増加しており、川越のウォークソン・ウォークソンの川越という本市を代表するスポーツイベントとなっています。

さて、今大会の上位入賞者並びにスタイル賞・シルバークラウン賞受賞者をご紹介します。

競技

◎競技20km男子

1位 早見 真 1時間45分13
2位 城田泰久 1時間52分22
3位 小金山光雄 1時間55分63
4位 佐々木敏雄 1時間56分03
5位 長谷川渡 1時間59分20
6位 北村富弘 2時間07分08
7位 藤野原稔人 2時間08分16
8位 斉木六郎 2時間08分57
9位 高柳光雄 2時間11分25
10位 松尾武幸 2時間11分39

◎競技10km女子

1位 須藤則子 56分45
2位 松本眞喜子 1時間13分52
3位 蓬田和子 1時間13分58
4位 千羽かよ子 1時間14分55
5位 上原綾子 1時間15分55
6位 斉藤昌江 1時間17分28
7位 水品裕子 1時間20分36
8位 国府田和恵 1時間20分49
9位 大野智栄子 1時間21分53
10位 上野恭子 1時間21分58

スタイル賞

◎一般10km男子

和田 浩 浦部兼延・小川清一郎
関口敏夫・細野敏行・小俣勝美
又重英一・磯部正和・平野健次

◎一般10km女子

持田真佐子・池田典子・神田民子
鎌滝真知子・川上敏子・森 公子
垂見さおり・菅原雅子・

◎一般5km(59歳以下)男子

柳 久二・浅井章吉・半谷 司
栗原春夫・横山源昭・宮下 啓
柳瀬栄一・佐藤博幸・加藤良雄

◎一般5km(59歳以下)女子

岡田豊子・鷺見直子・内山サダ子
牛窪ケイ子・加藤利子・渡辺朝美
野口多希子・佐藤厚子・

◎一般5km(60歳以上)男子

杉山大太郎・栗原忠一・山田茂雄
帯津永太郎・原 道博・石川隆昭
柴田定雄

◎一般5km(60歳以上)女子

志賀シズ・中嶋さん・掛巣ツネ
水野妙子・村岡貞子・三間千鶴子
高瀬公子・宮岡迪子・鷺谷喜久
守屋成子

◎小学生5km男子

小池 卓・鈴木慎也・小林慎之介
利根川喜弘・山浦紘一・大室彰夫
河野美智雄・下河原 守

◎小学生5km女子

坂代愛子・羽柴実緒・五十里慶子

永田純子・石岡朋子・岡田みか
諸藤香里・小林祐子・斉藤美幸
鈴木 綾

◎中学生10km男子

升星大樹・鷺山信人・増田知浩
星野 真・升星直樹・山岸悠祐
小柳啓一・寺内康仁・山岸正和
荷田智之

◎中学生10km女子

熊谷明子・荷田寛子・石井久美
武藤彩子・水上佳名子・大島昌子
山川景子・武藤智子・石木雅子
富重文恵

◎親子5km

浅利隆昇・隆之・田島賢志・聖志
中村寿夫・仁美・阿部文子・博明
柳川雄一・俊治・根本定男・輝光
三浦 修・真二・横山一美・亜希
柿浦修次・祐樹・理香・細谷徳男
勇人

シルバークラウン賞

◎男子
平田伊佐蔵(88歳)・窪田長治(87歳)
◎女子
中野繁之助(83歳)・塚田武雄(84歳)

シルバークラウン賞

◎男子
平田伊佐蔵(88歳)・窪田長治(87歳)
◎女子
中野繁之助(83歳)・塚田武雄(84歳)

シルバークラウン賞

◎男子
平田伊佐蔵(88歳)・窪田長治(87歳)
◎女子
中野繁之助(83歳)・塚田武雄(84歳)

シルバークラウン賞

◎男子
平田伊佐蔵(88歳)・窪田長治(87歳)
◎女子
中野繁之助(83歳)・塚田武雄(84歳)

シルバークラウン賞

◎男子
平田伊佐蔵(88歳)・窪田長治(87歳)
◎女子
中野繁之助(83歳)・塚田武雄(84歳)

以上の方々受賞おめでとうございます。
11回大会は市制70周年記念事業の冠大会となり、市役所を起点としたものから、川越運動公園陸上競技場へ移転いたします。
今まで以上に、本格的な陸上競技としてこの川越ウォークソン大会も新たな変心をするのでしよう。今後とも、関係者各位のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

第44回市民体育祭

平成三年度の市民体育祭中央大会は、九月一日の水泳の部とソフトボールの部を皮切りに三月一日のスケートの部をもって、体育協会加盟二十六団体、二十六種目の大会が無事終了しました。

大会開催にあたって、会場の確保や運営等で各連盟の役員さんには大変ご苦労さまでした。

大会会場は、市内・市外とそれぞれ異なりましたが、各大会において熱戦が展開されました。

屋外の競技では、台風・雨等天候に悩まされて実施された競技が何種目もありました。

各大会の成績については、紙面の都合により、省略させていただきます。



(体育功労賞の表彰)

本年度の参加者数は下記のとおりで、合計二、八八八名の参加が得られました。

地区大会は、九月下旬より十一月中旬にかけて市内三十三会場にて開催されました。一八六自治会四四、二五二名の参加が得られました。

中央大会と地区大会の参加者を合計すると六七、一四〇名で市人口の約二十二パーセントが市民体育祭に参加したことになります。

十月十日(体育の日)川越市市民体育館において「第四十四回市民体育祭総合開会式並びに体育功労者・特別表彰及び優秀選手表彰式」が五八〇名の参加を得て盛大に開催されました。

市長・教育長をはじめ来賓多数の臨席のもと定刻に入場し、十時に開会されました。

ホスト団体(スケート連盟)代表の選手宣誓のあと、平成三年度体育功労者、特別表彰及び優秀選手表彰式が行われました。

体育功労者は、体育・スポーツの振興に著しく功績のあった方に贈られ、特別表彰は、全国大会に十年連続で出場したチーム、学校

に贈られます。また優秀選手賞は小・中・学生の県大会の優勝者及び関東大会以上に出場した選手にそして高校・大学・一般については全国大会以上の大会に出場した選手に贈られます。

今年度の体育功労者は次の六名の方が受賞されました。

島村 光高
軟式庭球連盟

山崎 雅春
バレーボール連盟
レクリエーション協会

高橋 良雄
柔道連盟

(中)島 義雄
剣道連盟

斎藤 清
弓道連盟

星野 昭
高等学校体育連盟

また、今年度より新たに設けられた特別表彰は、次の四団体が受賞しました。

川越商業高等学校
女子バレーボール部

全国高等学校総合体育大会
(昭和57年~平成3年)

星野女子高等学校
軟式テニス部

全国高等学校総合体育大会

(昭和50年~平成3年)
川越工業高等学校
自転車競技部

全国高等学校総合体育大会
(昭和35年~平成3年)
国民体育大会
(昭和56年~平成3年)

川越農業高等学校
弓道部

全国高等学校総合体育大会
(昭和50年~平成3年)

また、今年度の優秀選手賞は、三一二名で昨年度よりも十八名多くの選手が受賞されました。

種目・団体別受賞者数は次のとおりです。

(野球)
パイオニア川越工場(21名)
川越リトルリーグジャイアンツ(21名)

(卓球)
川越シャトー(21名)

(軟式庭球)
卓球連盟(4名)

(軟式庭球連盟)
軟式庭球連盟(9名)
名細中学校(3名)

星野女子高等学校(9名)
川越高等学校(3名)
川越東高等学校(5名)

(バレーボール)

川越商業高等学校(14名)
霞みなみジュニアバレーボールクラブ(10名)
(バスケットボール)

大東西ミニバスケットボール教室(20名)
城南中学校(13名)
霞ヶ関東中学校(20名)
星野女子高等学校(13名)

(柔道)
柔道連盟(2名)

大東中学校(2名)
剣道連盟(1名)

(弓道)
弓道連盟(1名)

川越女子高等学校(5名)
川越農業高等学校(7名)

(空手道)
空手道連盟(1名)

(陸上)
名細中学校(2名)
高階西中学校(2名)
川越高等学校(7名)
川越西高等学校(2名)

川越工業高等学校(2名)

(水泳)
第一中学校(3名)
富士見中学校(2名)
城南中学校(1名)
高階中学校(2名)
高階西中学校(2名)
寺尾中学校(2名)

種 目	日 時	会 場	平成3年度市民体育祭参加状況一覽					一覽合計数
			小一高	30才未	市民婦人	体育人	参加状況 30~60 その他	
総合開会式	10/10	市民体育館						580
野 球	9/15・23・29	市民体育館					380	380
卓 球	10/20	市民体育館	168	100	59	35	8	370
軟式庭球	10/4~11/10	市民体育館	80	84	106	12	20	302
バレーボール	9/15~10/24	市民体育館	150	290	460			900
バスケットボール	10/20~11/17	川越初雁高校	450	375	75			900
サッカー	10/6~11/24	上戸サッカーグラウンド	1,540	380	60			1,980
柔 道	9/22	川越武道館	325	98	6	51		480
空 手	10/13	川越武道館	224	30	16	36		306
弓 道	10/27	川越武道館	20	5	21	5	2	53
陸上	11/10	川越中学校	280		2	5		287
水 泳	9/1	川越女子高校	1,562	24	35	44	2	1,667
スキー	2/23	湯沢パークスキー場	19	65	8	58		150
スケート	10/10	群馬ジャイアント射撃場				87		87
ライフル	9/15	朝霞オリンピック射撃場	2		3	49		54
スケート	3/1	東武川越スケートセンター	28	10			9	47
体操	11/10	市民体育館	154					154
小 体 連 連	10/2	霞ヶ関小学校	1,320					1,320
中 体 連 連	10/16・17・18	市民体育館	5,510					5,510
高 体 連 連	9/8~12/8	川越高校	2,207					2,207
レクリエーション	10/20~11/17	第一小学校	18	11	349	31	9	418
バドミントン	11/17	市民体育館		24	110	168		302
少林寺拳法	10/13	市民体育館	194	57		6		257
ソフトボール	9/1~3/29	人間大橋グラウンド			630	2,580	300	3,510
硬式テニス	10/5~12/15	川越水上公園		735	274	35		1,044
ボウリング	9/15	川越ファミリーレーン	2	5	22	23	4	56
合 計 数			14,351	2,342	2,236	3,614	345	22,888

- 鯨井中学校 (2名)
- 初雁中学校 (1名)
- 星野女子高等学校 (6名)
- 〔スケート〕
- スケート連盟 (6名)
- 〔体操〕
- 野田中学校 (9名)
- 鯨井中学校 (3名)
- レクリエーション
- バウンドテニス連盟 (3名)
- 〔少林寺拳法〕
- 城北埼玉高等学校 (9名)
- 山村女子高等学校 (11名)
- 川越東高等学校 (13名)

- 〔ソフトボール〕
- 星野女子高等学校 (15名)
- 〔テニス〕
- テニス協会 (8名)
- ボウリング連盟 (1名)
- 自転車競技
- 川越工業高等学校 (3名)

特別表彰

特別表彰を受賞した各部の監督の喜びの声

川越商高 バレーボール部
監督 伊藤 博義

インターハイ10年連続14回目の出場で、川越市より特別表彰をして頂きました。地道に努力して来た事を認めて頂き晴れの表彰となつた訳ですが誠に感謝に堪えません。有難うございます。インターハイでは昭和58年秋田県鷹巣での大会で準優勝し、国民体育大会では、平成元年北海道国体で全国優勝を飾っています。選手ではOGの小高笑子(日立)がオリンピックへ出場し銅メダルを獲得と、毎年優秀な選手を送り出しています。この表彰を機に今後共精進し良い成績を納めたいと思います。御声援の程宜敷くお願い申し上げます。

星野女子高 軟式テニス部
監督 神谷 琢郎

特別表彰を戴き厚くお礼を申し上げます。十七年連続出場は、今回代表で表彰を受けた二年生が生まれた年からという事になり、生徒の方がビックリしていた程でした。この間、関東大会に出場できなく全国は無理かと思つたヒヤヒヤな年もありました。初入賞して大喜びした年、また鹿兒島インターハイでは地元の大応援団を相手に鹿兒島を破つての準優勝と多くの思い出があります。しかし全国の壁は相変わらず早く早くベルリンのようになれと、今年も部員五十名が夢を追い続けています。日頃お世話になつている市体育課・軟体連の方々に深く感謝いたします。

川越農高 弓道部
監督 影山 一

川越農業高校弓道部の歴史でこれまでに三回黄金時代がありました。はじめが昭和50年から53年頃までで、全国高校総体団体準優勝などの成績をあげました。次が昭和58年から61年頃までで全国高校総体個人優勝、団体優勝など数々の成果をあげました。そして、現在が第三の黄金時代

です。昨年は関東大会優勝、石川国体で第四位をおさめました。これまで御指導いただいた川越市はじめ関係各位の皆様にご心からお礼申し上げます。

川越工高 自転車競技部
監督 柴崎 邦輔

80余年の伝統を誇る本校は、「誠実・勤勉・創意」を校訓とし、調和のとれた人間形成を目指した高校教育を実践している。とりわけスポーツ界に優れた人材を送り出し、陸上・庭球・剣道・野球・バスケットボール・サッカー・柔道・自転車競技等、関東全国大会に出場している。特に、自転車競技部の活躍は伝統的であり、昭和38年には油井良男が、国際大会に出場し高校日本新記録を樹立、昭和58年にも倉持伸次が国体で高校日本新記録を樹立し、オリンピック候補選手となるなど、川工の黄金時代がつづいた。その後もインターハイ、国体の上位進出は数知れず、プロ選手としても北島次郎を筆頭に20余名が活躍している。

現在、特別表彰の名に恥じないよう、伝統を引き継ぐべく部員一同努力をしています。

第十回 婦人スポーツの集い

市制六十周年の記念事業として開催された「婦人スポーツの集い」も回を重ねて、第十回を迎え、七月七日、市民体育館に於て行なわれました。

節目にあたる今回は、講師に元オリンピック選手で、長い間「新体操の女王」として活躍された山崎浩子さんをお招きしました。

テーマは「健康トキキング」素晴らしい指導者のもと「為せば成る」の精神を貫き通して第一線で活躍された現役時代のお話はユーモアを交えて、とてもなごやかな講演会となりました。

その後、アトラクションとして秩父屋台囃子の熱演と、その音色に合わせて皆で輪になって踊った民踊に、汗をかきながらもとてもさわやかな一日となりました。

これからも、毎日の生活の中でスポーツを生活の一部としてとらえ、汗をかく事のすばらしさを多くの人達と味わいたいと思えました。



スポーツ少年団の活動

日本本部が三十年、川越市スポーツ少年団も、十六年を迎えました。

これまでの当市スポーツ少年団の歩みは、決して平坦なものではありませんでした。

しかし、関口本部長の熱意、保健体育課の先生方のご指導、各單位団の指導者、常任委員の方々の協力により、現在の様な活動が実施される様になってきたと思えます。団員が、スポーツを通じて、

自己の努力と、団員相互の協力によって、力をかぎりなくのばし、精神の成長をさせていく事を目標に頑張るのが、スポーツ少年団であると思えます。

平成三年度は、五十五団体、二千五百二十五名の団員、四百八十二名の指導者が登録されました。

当市のスポーツ少年団の活動として、体育祭、スポーツテスト、新春マラソンを実施しております。特にスポーツテストは、団員が必ず実施する事を義務づけています。

その事により、団員一人一人の力が明確にされ、データーをもとに本部より毎年一冊の本にして、発行されております。その本をもとに各單位団が、団員の弱点を知り指導方法を考え、子供の体力の望ましい発達を図る様に、努力して

おります。

又、当市スポーツ少年団は、指導者の養成にも力を入れており、認定指導員養成講習会、研修会、講演会を行っております。

子供達の成長を願い、今後もお一層健全な育成指導を図っていく事を願っております。

なお、当市スポーツ少年団の、ますますの発展をお祈りいたします。

体育賞決まる

平成三年度市内小・中・高校生の体育賞が、二月二十一日の体育協会正副会長・正副理事長会において選考されました。

この体育賞の表彰は、左記の本会表彰規定により行われます。

川越市体育協会表彰規定

第二条 表彰は次の各号に該当する者に対してこれを行う。

一、児童・生徒で体育及び学業共に優秀で他の模範と認められる者

川越市体育協会表彰規定施行細則第三条 表彰の選考基準は次のとおりとする。

二 体育賞は、市内小学校・中学校・高等学校最終学年の児童・生徒

徒で、体育・学業共優秀で他の模範である者各校男女一名に対して行う。

本年度は、市内四十七校の学校長より八十五名の推薦がありまして。昨年度よりも受賞者が五名多くなっています。現在市内には、

小学校三十三校、中学校二十三校、高等学校十四校の受賞対象校があり、多くなって優良児童・生徒が推薦されることを期待します。

川越市総合第5位

県民総合体育大会

平成三年度県民総合体育大会が競技部門・レクリエーション部門コミュニティ部門とも県内各地において開催されました。

川越市は、競技部門(市町村対抗)の総合で5位・男子の部で4位・女子の部で11位という成績を収めました。

市内で開催される、コミュニティ部門では、今年度9種目が行われ、六千四百七十二名の参加をいただき、盛大に開催されました。種目は、

卓球・バドミントン・軟式テニス・グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・バレーボール・ソフトボールを行ない、体育協会加盟団体・体育指導委員連絡協議会その他関係団体に絶大なる協力をしていただき深く感謝いたしております。

来年度は、6種目を計画しておりますが、より多くの方々に参加していただきたく考えています。

また、市町村対抗においても、川越市選手団(役員・選手)の活躍をお祈りいたします。

体育賞受賞者種別集計

	学校数	男子	女子	計
小学校	16	15	16	31
中学校	21	20	20	40
高等学校	10	7	5	12
合計	47	42	41	83

受賞者には、卒業式当日に表彰状と記念品を授与します。受賞者の今後の活躍を祈念します。

視察研修会 福島県郡山総合体育館

十二月七日、八日の恒例の体育協会視察研修会を今年も、方向先を北の方へ向けて、福島県郡山市において、五十名の参加者を得て、盛大に開催されました。

郡山総合体育館は、緑の大きな動公園の中にあり、体育館、剣道場、弓道場、陸上競技場、運動広場、柔道場、球技場、テニスコート、屋外プール、幼児プール、その他、大小研修室、医務室等が集合してあり、道端の手入れの良い、花壇の花をみると、運動をした後のさわやかさを感じさせ、とくに運動広場が多く、その中でも芝生の広場は、美しく、しかも、大木の木陰があり、多目的な運動と遊びと、交流に最適だと思いました。参加者の皆様の御協力により、無事研修会を修了しましたことを、ホストの弓道連盟と体操連盟から厚く感謝申し上げます。



賀詞交換会

一月十一日(土)、川越福祉センターにおいて、恒例の川越市体育協会主催による体育関係者賀詞交換会が盛大に開催されました。

今回は空手道連盟とソフトボール協会がホスト団体となり、市長・教育長・市議会議長・スポーツ振興審議会議長等来賓多数ご臨席をいただき、二十七団体の参加を得て、総勢二四〇名にのぼる盛大なものとなりました。

まず、関口会長より「年間行事の報告と本年オリンピックの開催、国内に目をむけるとサッカーのプロ化等、スポーツの盛んな年にむけ、わが体協の責務も市民の健康作り、生涯スポーツへのポランテア活動等の力強い抱負のあいさつを頂きました。続いて川合市長より「市制七十周年を迎え歴史と伝統の街、川越市も三十万都市として大きく発展する中で陸上競技場が完成、引き続き体育館建設へ向けての計画具体化」も発表され、会長、市長により威勢よく鏡開き、その後、「みなさまの英知と情熱で川越市体協の大きな発展を」と藤田助役が音頭を取って乾杯。一年の飛躍を願って、新しい年の幕明けにふさわしい観談の輪が広がった。

今秋オープン陸上競技場

市民待望の陸上競技場は、今秋その雄姿を私たちの前に現わします。公認二種陸上競技場としては県下四番目の施設として、その完成が市民はもちろん、県内外のスポーツ関係者から注目を集めています。

現在、トラック・フィールド面の最終工事が行われており、昨年末には、芝張りも完了しています。完成しますと、八千五百人収容のスタンド(メインスタンド四千五百人、芝スタンド四千人)に多数の観客が集まり、市民を対象にした数々のイベントや、全国レベルの競技が繰り広げられることでしょう。

折りしも、今年市制70周年記念の年でもあり、陸上競技場を会場とする記念行事も数々行われようとしています。例をあげると、

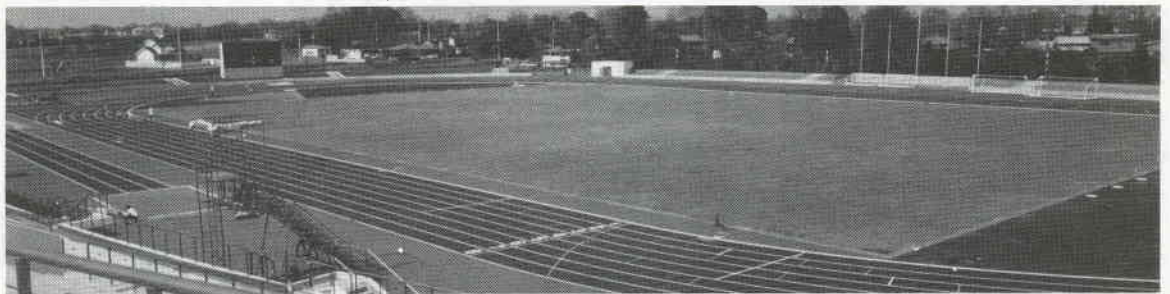
- ① 陸上競技場オープン記念行事 九月二十七日(日)予定
- サッカー公式試合

- ② 市民ビック(市政70周年実行委員会主催) 十月四日(日)予定

- ③ 川越ウォークソン大会 十一月三日(例)予定

その他、市民体育祭をはじめ、さまざまな大会が開かれるでしょう。

(川越運動公園陸上競技場全景)



生涯スポーツの振興 を図る夜間照明施設

市民が生涯にわたってスポーツレクリエーション活動に親しむことは、健康の保持・増進とともに、地域のコミュニティづくりの場としても重要なことです。

市では、生涯スポーツの振興・奨励はもとより、市民の体力向上と、市民相互の理解を深め、健康で明るい地域社会の発展に寄与することを目的として、夜間照明施設の設置を計画的に進めています。平成四年三月までに設置されたのは、小学校三校(福原小・上戸小・古谷小)、中学校四校(富士見中・芳野中・高階中・霞ヶ関中)計七校となっています。

各設置校とも、地域スポーツ(フットボール中心)の振興を積極的に進めるため、運営委員会を組織し、市民の健康・体力づくりに活用を図っています。

平成三年度は、五校で利用者が五千人を越えました。利用期間は、四月より十月、土・日曜日の午後五時から午後九時までを基本的な利用時間として、利用者の自主的な運営のもと、カクテル光線をあびながら、市民がスポーツに親しんでいます。

団体

だより

川越市小学校体育連盟

川越市小学校体育連盟は、発足以来一貫して、川越市における小学校体育の振興と、児童の体力向上、そのための先生方の体育指導力の向上を、活動の柱として努力を重ねております。

現在、市内の二十三校の体育主任を中心として、四研究部、二専門委員会等を組織し、スポーツ大会の運営と授業研究を通し、心身に健全な児童の育成に努力しております。また、体育実技伝達講習会におきましては、指導力向上が児童の体力向上に欠かせないと認識のもとに、市内の先生方の力量向上に寄与すべく努めております。

スポーツ大会は、各小学校の五、六年生の代表で競技が行われる市民体育祭小学校陸上の部や、六年生代表によるバスケットボール大会、五年生全員参加によるサッカー大会など実施しています。

研究会活動では、毎年新しい課題に取り組み、四研究部でそれぞれ

二回ずつの授業研究会を実施し、授業の改善に努め、個々の児童の運動技能、体力の向上をめざしています。

今日、児童たちの環境は決して良いとは言えません。私たち、小学校体育連盟では、真に運動好きの児童を一人でも多く創り出せるように、日々努力していきたいと考えています。二十一世紀に生きる児童たちを、大切に育ててまいります。

川越市中学校体育連盟

川越市中学校体育連盟は、昭和三十年に「川越市における中学校体育を振興し、体力の向上を図りスポーツ精神をかん養すること」を目的として創設。現在の組織は競技部と研究部に分けて活動しています。

競技部は、陸上競技・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・野球・バドミントン・サッカー・軟式庭球・柔道・剣道・卓球・体操・水泳・ラグビー・ダンスの十五の専門部より構成され、専門委員を中心に各部ごとに大会、講習会を企画し、効率的な運営と競技力の向上を図っています。

研究部は、市内二十三校の体育主任を中心に体育教師を「体操」

「個人スポーツ」「集団スポーツ」「格技」「ダンス」の五グループに分け、保健体育科授業の充実、向上を図るための授業研究を中心に、各領域の特性をふまえた指導法の研究を行っています。

年間行事として、

○学校総合体育大会(市予選会 地区大会・県大会・関東大会 全国大会)

○県民総合体育大会(市予選会 地区大会・県大会)

○新人戦大会(市予選会・地区大会・県大会)

○通信陸上大会(市予選会・県大会)

○駅伝競走大会(市予選会・県大会)

○各研究部授業研究会

○各専門部講習会
吉野忠男(会長)をはじめ、副会長(二名)、幹事(六名)、体育主任(二十三名)、専門委員長(十五

名)を中心に川越市中学校体育の振興並びに生徒の競技力・体力の向上に努めていきたいと思えます。

川越市高等学校体育連盟

川越市高等学校体育連盟は、昭和二十二年、川高・川女・川工・川農・川商の各高等学校体育指導者により発足しました。その後、加盟校も年々増えお現在、星女・山女・城西・川南・川西・秀明・城北・川初・川東が加盟し、市内の高等学校における体育振興に尽力しています。

本連盟の主な活動として、各校で球技大会を開催し、学年別に優勝したチームが市内の各校を会場に「市内高等学校バレーボール大会」を実施しています。また、教職員を対象とした、「市内高等学校教職員レクリエーション大会」を実施しています。また、「テニス・卓球」を実施し、春は、「テニス・卓球」

秋は、「ソフトボール・バレーボール」を行っています。どちらも高校の枠を越えた楽しいひとときになっています。

体育科教育の研究・研修の機会として、昭和二十九年から一年一回の公開研究授業と種目別に専門の指導者からの技術講習会を開催しています。

本連盟は、埼玉県内だけでなく

全国的にも、選手が活躍しています。特に今年は、「全国大会十年連続出場」の川商女子バレーボール部、川農の弓道部、星女軟式テニス部、川工の自転車競技部が、市体育協会より特別賞を受賞しました。この四部以外にも各校各部分は目標を高くかけ、毎日練習に励んでいます。

編集後記

今年、市制施行70周年の年となり、4年度体育事業に、たくさん記念行事が計画され、着々と準備が進められております。

これからの体協広報紙「スポーツ川越」にも70周年事業の特集など、盛りたくさんの内容で発行されることでしょう。

最後に、忙しい中にもかかわらず心よくご寄稿いただいた各位にお礼申し上げます。

(広報委員会)



(中学校体育大会)

